



## 2021年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2021年5月14日

上場会社名 ASTI株式会社  
 コード番号 6899 URL <https://www.asti.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 波多野 淳彦

問合せ先責任者 (役職名) 経営本部総務部長 (氏名) 仲原 功

TEL 053-444-5111

定時株主総会開催予定日 2021年6月18日

配当支払開始予定日

2021年6月21日

有価証券報告書提出予定日 2021年6月21日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	45,213	0.6	980	2.1	1,381	37.4	1,390	155.8
2020年3月期	45,496	4.3	959	44.6	1,005	51.0	543	66.3

(注) 包括利益 2021年3月期 1,825百万円 ( %) 2020年3月期 11百万円 ( 99.1%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	444.83		8.1	4.3	2.2
2020年3月期	173.88		3.3	3.2	2.1

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 百万円 2020年3月期 百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	34,733	17,938	51.6	5,733.53
2020年3月期	30,252	16,269	53.7	5,199.31

(参考) 自己資本 2021年3月期 17,924百万円 2020年3月期 16,255百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	153	1,494	1,457	2,194
2020年3月期	2,733	1,923	627	2,026

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期		0.00		50.00	50.00	156	28.8	1.0
2021年3月期		0.00		70.00	70.00	218	15.7	1.3
2022年3月期(予想)		0.00						

(注) 2022年3月期末の配当予想につきましては、現時点で未定としております。

### 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	26,000	46.4	700		700		500		159.93
通期	53,000	17.2	1,900	93.8	1,900	37.5	1,300	6.5	415.83

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期	3,417,006 株	2020年3月期	3,417,006 株
期末自己株式数	2021年3月期	290,723 株	2020年3月期	290,612 株
期中平均株式数	2021年3月期	3,126,357 株	2020年3月期	3,126,433 株

(参考)個別業績の概要

1. 2021年3月期の個別業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	29,499	1.2	486		989	320.3	1,172	
2020年3月期	29,853	7.9	24	96.4	235	78.1	30	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	375.07	
2020年3月期	9.68	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2021年3月期	27,558		14,069		51.1		4,500.35	
2020年3月期	24,095		12,848		53.3		4,109.77	

(参考) 自己資本 2021年3月期 14,069百万円 2020年3月期 12,848百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
連結損益計算書 .....	6
連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(セグメント情報) .....	11
(1株当たり情報) .....	14
(重要な後発事象) .....	14
4. その他 .....	14
(1) 役員の変動 .....	14

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

#### 事業の経過及びその成果

当連結会計年度における世界経済は、昨年度末に発生した新型コロナウイルス感染症の影響により急激に減速しましたが、第3四半期から地域差はあるものの、消費は持ち直してまいりました。一方、日本経済におきましても、第2四半期から回復基調となりましたが、その回復ペースは鈍く、未だに新型コロナウイルス感染症の影響前の経済状態には回復していない状況です。

このような状況の中、当社グループは、中期経営計画の最終年度として、「成長を遂げる」のスローガンのもと次の3項目を重点に取り組んでまいりました。

- ① 各国内工場は徹底的に業務の改善改革（省人化・省時間・合理化・省スペース化）を行い、更なる利益を出す。
- ② 商品構造が変化中、将来に繋がる新事業・新商品・新部品をお客様に提案していく案件を創り出す。
- ③ 会社のしくみを変え、会社風土改革に結び付ける。

具体的には、「各国内工場は徹底的に業務の改善改革（省人化・省時間・合理化・省スペース化）を行い、更なる利益を出す。」について、国内、国外共、各工場における工程の合理化・自動化を進めてまいりました。また新生産システムの導入を進め更なる合理化を目指してまいります。

「商品構造が変化中、将来に繋がる新事業・新商品・新部品をお客様に提案していく案件を創り出す。」につきましては、社内から開発事業を公募するしくみを推進しております。加えて、新規事業部では昨年度に引続き開発製品の事業化に向けた施策の実施、開発事業部ではパワーエレクトロニクス技術を活用した新たな製品開発を推進しております。

「会社のしくみを変え、会社風土改革に結び付ける。」につきましては、管理職への人事考課研修、情報セキュリティ研修等を開催し、会社の管理レベルの強化に努めると共に、社員の自己研鑽を推進する為の新規メニューづくりを行ってまいりました。

当連結会計年度の業績は、ほぼ前期の水準まで挽回し売上高は45,213百万円（前期比0.6%減）、営業利益は980百万円（同2.1%増）、経常利益は為替差益239百万円の発生などにより1,381百万円（同37.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は、繰延税金資産の計上による税金費用の減少等により1,390百万円（同155.8%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### (イ) 車載電装品

車載電装品では、コーナーセンサ、各種電子制御ユニット等の販売減により、売上高は16,282百万円（前期比7.0%減）、営業利益213百万円（同39.4%減）となりました。

#### (ロ) 民生産業機器

民生産業機器では、通信用スイッチユニット及び産業用ロボットコントローラ制御基板等の販売増により、売上高は14,309百万円（前期比12.7%増）、営業利益は646百万円（同55.2%増）となりました。

#### (ハ) ワイヤハーネス

ワイヤハーネスでは、二輪用ワイヤハーネスの販売減により、売上高は14,512百万円（前期比4.7%減）、営業利益は380百万円（同39.6%減）となりました。

#### (ニ) その他

その他では、売上高は109百万円（前期比41.0%増）、営業損失は282百万円（前期は395百万円の営業損失）となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

## (資産)

当連結会計年度末における流動資産の残高は、21,391百万円（前年度末比20.7%増）となりました。受取手形及び売掛金の増加1,442百万円（同21.6%増）及び原材料及び貯蔵品の増加1,259百万円（同30.3%増）が主な要因であります。

当連結会計年度末における固定資産の残高は、13,341百万円（同6.5%増）となりました。機械装置及び運搬具の増加394百万円（同13.4%増）、投資有価証券の増加270百万円（同57.6%増）及び繰延税金資産の増加105百万円（同323.7%増）が主な要因であります。

## (負債)

当連結会計年度末における流動負債の残高は、11,145百万円（前年度末比43.2%増）となりました。支払手形及び買掛金の増加1,125百万円（同32.6%増）及び短期借入金の増加2,112百万円（同89.8%増）が主な要因であります。

当連結会計年度末における固定負債の残高は、5,649百万円（同8.9%減）となりました。長期借入金の減少461百万円（同8.0%減）が主な要因であります。

## (純資産)

当連結会計年度末における純資産の残高は、17,938百万円（前年度末比10.3%増）となりました。利益剰余金の増加1,234百万円（同10.6%増）が主な要因であります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という）は前連結会計年度末に比べ167百万円増加し、2,194百万円となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計期間において営業活動による資金の取得は、153百万円（前期は2,733百万円の取得）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益1,335百万円、減価償却費1,560百万円、売上債権の増加額1,792百万円、たな卸資産の増加額1,448百万円を反映したものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計期間において投資活動による資金の支出は、1,494百万円（前期は1,923百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1,462百万円を反映したものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計期間において財務活動による資金の取得は、1,457百万円（前期は627百万円の支出）となりました。これは主に、借入金の増加額1,679百万円、配当金の支払額156百万円を反映したものであります。

## (4) 今後の見通し

## (次期の業績見通し)

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルスワクチンの普及及び米国経済や中国経済の牽引により需要回復が予想されますが、半導体不足をはじめとする原材料の調達不安及び国際輸送コストの高騰など、当社グループを取り巻く経営環境は引き続き予断を許さない状況が続くと予想されます。

このような状況の中、新たな中期計画を策定し、「低炭素社会の実現に資する電子ユニット」「重要電子機器をつなぐワイヤーハーネス」「新規事業」「海外における受注生産事業」の4分野を重点的に強化してまいります。

次期の業績見通しにつきましては、

売上高	53,000百万円（当期比17.2%増）
営業利益	1,900百万円（当期比93.8%増）
経常利益	1,900百万円（当期比37.5%増）
親会社株主に帰属する当期純利益	1,300百万円（当期比6.5%減）

を見込んでおります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,026,740	2,194,339
受取手形及び売掛金	6,664,613	8,107,180
電子記録債権	2,544,913	3,001,417
商品及び製品	963,924	1,132,594
仕掛品	752,465	890,942
原材料及び貯蔵品	4,162,616	5,422,006
未収入金	409,939	382,658
その他	203,633	261,010
貸倒引当金	△637	△792
流動資産合計	17,728,211	21,391,357
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,762,113	9,917,847
減価償却累計額	△5,454,906	△5,692,141
建物及び構築物 (純額)	4,307,207	4,225,705
機械装置及び運搬具	9,065,525	10,304,770
減価償却累計額	△6,110,512	△6,954,877
機械装置及び運搬具 (純額)	2,955,012	3,349,893
工具、器具及び備品	4,195,191	4,214,922
減価償却累計額	△3,701,585	△3,762,955
工具、器具及び備品 (純額)	493,606	451,966
土地	2,752,266	2,765,093
リース資産	139,665	322,372
減価償却累計額	△74,057	△135,555
リース資産 (純額)	65,608	186,816
建設仮勘定	568,561	533,039
有形固定資産合計	11,142,262	11,512,515
無形固定資産	682,262	742,811
投資その他の資産		
投資有価証券	469,159	739,260
繰延税金資産	32,467	137,559
その他	204,446	211,531
貸倒引当金	△6,299	△1,999
投資その他の資産合計	699,773	1,086,351
固定資産合計	12,524,298	13,341,678
資産合計	30,252,509	34,733,036

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,451,104	4,576,700
短期借入金	2,353,052	4,465,954
未払金	994,871	1,228,868
リース債務	31,747	57,438
未払法人税等	229,332	181,554
賞与引当金	514,956	458,029
製品保証引当金	11,443	10,759
その他	193,898	165,736
流動負債合計	7,780,406	11,145,041
固定負債		
長期借入金	5,801,883	5,340,213
リース債務	37,274	137,200
繰延税金負債	212,378	18,607
退職給付に係る負債	72,880	89,304
資産除去債務	1,110	1,136
その他	77,027	63,022
固定負債合計	6,202,555	5,649,484
負債合計	13,982,962	16,794,525
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,476,232	2,476,232
資本剰余金	2,640,082	2,640,082
利益剰余金	11,682,903	12,917,288
自己株式	△417,240	△417,411
株主資本合計	16,381,977	17,616,192
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	201,220	405,722
為替換算調整勘定	△328,114	△97,274
その他の包括利益累計額合計	△126,894	308,447
非支配株主持分	14,464	13,870
純資産合計	16,269,547	17,938,510
負債純資産合計	30,252,509	34,733,036

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	45,496,321	45,213,913
売上原価	40,892,726	40,883,172
売上総利益	4,603,594	4,330,740
販売費及び一般管理費		
発送運賃	231,996	235,894
製品保証引当金繰入額	11,102	12,363
役員報酬	107,586	119,000
給料及び賞与	1,315,750	1,173,486
福利厚生費	310,954	266,131
賞与引当金繰入額	154,911	125,483
退職給付費用	72,448	68,104
減価償却費	202,366	238,724
支払手数料	274,617	234,187
その他	962,055	877,016
販売費及び一般管理費合計	3,643,788	3,350,390
営業利益	959,806	980,349
営業外収益		
受取利息	40,724	31,323
受取配当金	11,927	12,268
為替差益	—	239,548
補助金収入	115,207	53,693
助成金収入	38	68,727
その他	86,348	75,255
営業外収益合計	254,246	480,818
営業外費用		
支払利息	67,756	68,206
為替差損	107,668	—
デリバティブ評価損	20,388	—
その他	12,392	10,964
営業外費用合計	208,204	79,171
経常利益	1,005,848	1,381,996
特別利益		
固定資産売却益	60	5,139
投資有価証券売却益	31	4
退職給付制度改定益	163,560	—
特別利益合計	163,651	5,144
特別損失		
固定資産処分損	3,389	48,981
減損損失	—	2,591
特別損失合計	3,389	51,572
税金等調整前当期純利益	1,166,110	1,335,568
法人税、住民税及び事業税	477,296	309,178
法人税等調整額	146,483	△363,124
法人税等合計	623,780	△53,946
当期純利益	542,330	1,389,514
非支配株主に帰属する当期純利益	△1,278	△1,190
親会社株主に帰属する当期純利益	543,609	1,390,704

(連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	542,330	1,389,514
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△132,233	204,501
為替換算調整勘定	△395,487	231,437
退職給付に係る調整額	△3,252	—
その他の包括利益合計	△530,973	435,939
包括利益	11,357	1,825,453
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	14,368	1,826,047
非支配株主に係る包括利益	△3,010	△593

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,476,232	2,640,082	11,247,309	△417,062	15,946,562
当期変動額					
剰余金の配当			△218,855		△218,855
親会社株主に帰属する当期純利益			543,609		543,609
自己株式の取得				△178	△178
連結子会社の決算期変更に伴う増減			110,839		110,839
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	—	435,593	△178	435,415
当期末残高	2,476,232	2,640,082	11,682,903	△417,240	16,381,977

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	333,453	65,640	3,252	402,346	17,475	16,366,383
当期変動額						
剰余金の配当						△218,855
親会社株主に帰属する当期純利益						543,609
自己株式の取得						△178
連結子会社の決算期変更に伴う増減						110,839
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△132,233	△393,755	△3,252	△529,240	△3,010	△532,251
当期変動額合計	△132,233	△393,755	△3,252	△529,240	△3,010	△96,836
当期末残高	201,220	△328,114	—	△126,894	14,464	16,269,547

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,476,232	2,640,082	11,682,903	△417,240	16,381,977
当期変動額					
剰余金の配当			△156,319		△156,319
親会社株主に帰属する当期純利益			1,390,704		1,390,704
自己株式の取得				△170	△170
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	—	1,234,385	△170	1,234,214
当期末残高	2,476,232	2,640,082	12,917,288	△417,411	17,616,192

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	201,220	△328,114	—	△126,894	14,464	16,269,547
当期変動額						
剰余金の配当						△156,319
親会社株主に帰属する当期純利益						1,390,704
自己株式の取得						△170
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	204,501	230,840		435,342	△593	434,748
当期変動額合計	204,501	230,840	—	435,342	△593	1,668,962
当期末残高	405,722	△97,274	—	308,447	13,870	17,938,510

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	1,166,110	1,335,568
減価償却費	1,583,210	1,560,807
減損損失	—	2,591
賞与引当金の増減額 (△は減少)	10,790	△59,057
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	415	△684
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	656,400	—
受取利息及び受取配当金	△52,652	△43,592
支払利息	67,756	68,206
為替差損益 (△は益)	125,400	△180,170
補助金収入	△115,207	△53,693
助成金収入	△38	△68,727
固定資産除売却損益 (△は益)	4,447	22,171
投資有価証券売却損益 (△は益)	△31	△4
デリバティブ評価損益 (△は益)	20,388	△2,669
売上債権の増減額 (△は増加)	111,760	△1,792,313
たな卸資産の増減額 (△は増加)	204,971	△1,448,343
その他の資産の増減額 (△は増加)	60,648	41,781
仕入債務の増減額 (△は減少)	△644,675	1,037,164
その他の負債の増減額 (△は減少)	△105,242	55,626
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△23,041	△59,770
その他	14,431	△2,194
小計	3,085,840	412,696
利息及び配当金の受取額	52,652	43,592
利息の支払額	△68,111	△67,493
法人税等の支払額	△452,043	△357,383
補助金の受取額	115,207	53,693
助成金の受取額	38	68,727
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,733,584	153,832
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,726,995	△1,462,943
有形固定資産の売却による収入	7,666	53,982
無形固定資産の取得による支出	△188,640	△94,086
投資有価証券の取得による支出	△2,936	—
投資有価証券の売却による収入	31	4,053
保険積立金の解約による収入	12,253	17,347
その他	△24,505	△12,558
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,923,125	△1,494,205
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,950,000	2,320,550
長期借入れによる収入	3,600,000	500,000
長期借入金の返済による支出	△1,040,116	△1,140,650
リース債務の返済による支出	△20,326	△65,716
自己株式の取得による支出	△178	△170
配当金の支払額	△217,177	△156,319
財務活動によるキャッシュ・フロー	△627,798	1,457,692
現金及び現金同等物に係る換算差額	24,995	50,279
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	207,654	167,598
現金及び現金同等物の期首残高	1,744,201	2,026,740
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	74,884	—
現金及び現金同等物の期末残高	2,026,740	2,194,339

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (セグメント情報)

## 1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、製品の類似性、工程の類似性を基礎としてセグメントを構成しており、そのうち「車載電装品」、「民生産業機器」、「ワイヤーハーネス」の3つを報告セグメントとしております。

「車載電装品」は、各種電子制御ユニット、エアコン制御システム、コーナーセンサ等を生産しております。

「民生産業機器」は、洗濯機用・食器洗浄機用電子制御基板、通信用スイッチユニット、産業用ロボットコントローラ等を生産しております。「ワイヤーハーネス」は、四輪・二輪用ワイヤーハーネス、船舶用ワイヤーハーネス等を生産しております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計
	車載電装品	民生産業 機器	ワイヤー ハーネス	計		
売上高						
外部顧客への売上高	17,506,564	12,691,683	15,220,521	45,418,770	77,551	45,496,321
セグメント間の 内部売上高又は振替高	271,526	64,278	43,848	379,653	84,838	464,492
計	17,778,091	12,755,961	15,264,370	45,798,423	162,390	45,960,814
セグメント利益又は損失(△)	352,652	416,608	630,200	1,399,461	△395,403	1,004,057
セグメント資産	11,603,711	6,194,392	9,771,298	27,569,403	2,029,989	29,599,392
その他の項目						
減価償却費	1,026,316	179,536	326,452	1,532,304	50,905	1,583,210
有形固定資産及び無形固定資産 の増加額	781,889	151,162	467,350	1,400,402	521,547	1,921,949

	調整額 (注)2	連結 財務諸表 計上額 (注)3
売上高		
外部顧客への売上高	—	45,496,321
セグメント間の 内部売上高又は振替高	△464,492	—
計	△464,492	45,496,321
セグメント利益又は損失(△)	△44,251	959,806
セグメント資産	653,117	30,252,509
その他の項目		
減価償却費	—	1,583,210
有形固定資産及び無形固定資産 の増加額	—	1,921,949

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、主に新規事業に関する事業等  
であります。

2. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失の調整額△44,251千円は、全社費用配賦差額となります。

(2) セグメント資産の調整額653,117千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。

全社資産は親会社での余資運用資金及び投資有価証券等であります。

3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計
	車載電装品	民生産業 機器	ワイヤー ハーネス	計		
売上高						
外部顧客への売上高	16,282,784	14,309,194	14,512,578	45,104,557	109,355	45,213,913
セグメント間の 内部売上高又は振替高	309,153	48,674	43,077	400,904	86,438	487,343
計	16,591,937	14,357,869	14,555,655	45,505,462	195,794	45,701,257
セグメント利益又は損失(△)	213,788	646,544	380,461	1,240,795	△282,752	958,043
セグメント資産	12,800,908	8,228,504	12,458,518	33,487,931	321,387	33,809,319
その他の項目						
減価償却費	945,559	212,848	346,945	1,505,353	55,454	1,560,807
有形固定資産及び無形固定資産 の増加額	888,092	210,378	477,892	1,576,362	109,923	1,686,286

	調整額 (注)2	連結 財務諸表 計上額 (注)3
売上高		
外部顧客への売上高	—	45,213,913
セグメント間の 内部売上高又は振替高	△487,343	—
計	△487,343	45,213,913
セグメント利益又は損失(△)	22,306	980,349
セグメント資産	923,717	34,733,036
その他の項目		
減価償却費	—	1,560,807
有形固定資産及び無形固定資産 の増加額	—	1,686,286

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、主に新規事業に関する事業等  
であります。

2. 調整額は、以下のとおりであります。

(1)セグメント利益又は損失の調整額22,306千円は、全社費用配賦差額となります。

(2)セグメント資産の調整額923,717千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。

全社資産は親会社での余資運用資金及び投資有価証券等であります。

3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	5,199.31円	5,733.53円
1株当たり当期純利益	173.88円	444.83円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	543,609	1,390,704
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	543,609	1,390,704
普通株式の期中平均株式数(千株)	3,126	3,126

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 4. その他

## (1) 役員の変動

## ①代表取締役の変動

- ・退任予定取締役  
取締役会長(代表取締役) 植平幹夫

## ②その他の役員の変動

- ・新任取締役候補  
社外取締役(監査等委員) 鵜飼裕之  
(学校法人東邦学園愛知東邦大学 学長 兼 東邦学園 理事)  
同氏の選任が承認された場合、独立役員として指定する予定であります。

- ・退任予定取締役  
社外取締役(監査等委員) 山口昇吾

## ③就任及び退任予定日

2021年6月18日